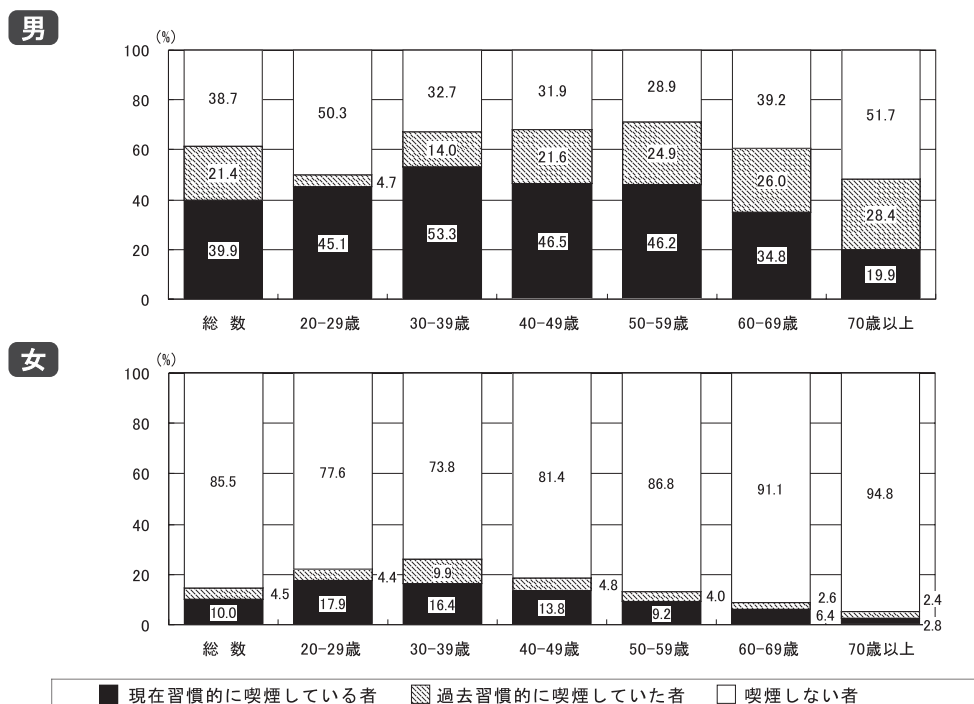


## 7. 喫煙の状況

現在習慣的に喫煙している者の割合は，男性では30歳代が最も高く，約5割，女性では20歳代が最も高く，約2割。

現在習慣的に喫煙している者の比率は，男性では30歳代が最も高く53.3%，女性では20歳代が最も高く17.9%であった。

図 12-1 喫煙の状況（20歳以上）

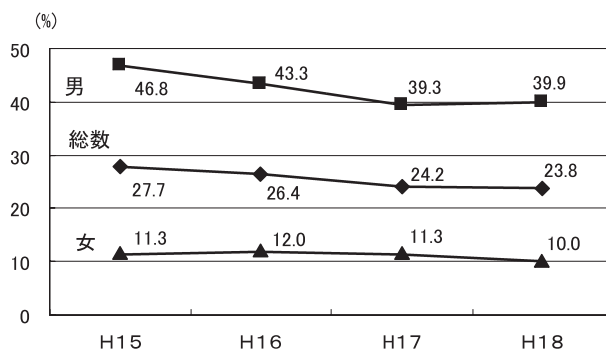


現在習慣的に喫煙している者：  
 これまで合計100本以上又は6ヶ月以上たばこを吸っている（吸っていた）者のうち、「この1ヶ月間に毎日又は時々たばこを吸っている」と回答した者  
 過去習慣的に喫煙していた者：  
 これまで合計100本以上又は6ヶ月以上たばこを吸っている（吸っていた）者のうち、「この1ヶ月間にたばこを吸っていない」と回答した者  
 喫煙しない者：  
 「まったく吸ったことがない」又は「吸ったことはあるが、合計100本未満で6ヶ月未満である」と回答した者

喫煙率は男女共に平成15年に比べ低下し，男性は4割を下回っていた。

喫煙率の年次推移をみると，男女共に平成15年に比べ低下し，男性39.9%，女性10.0%であった。

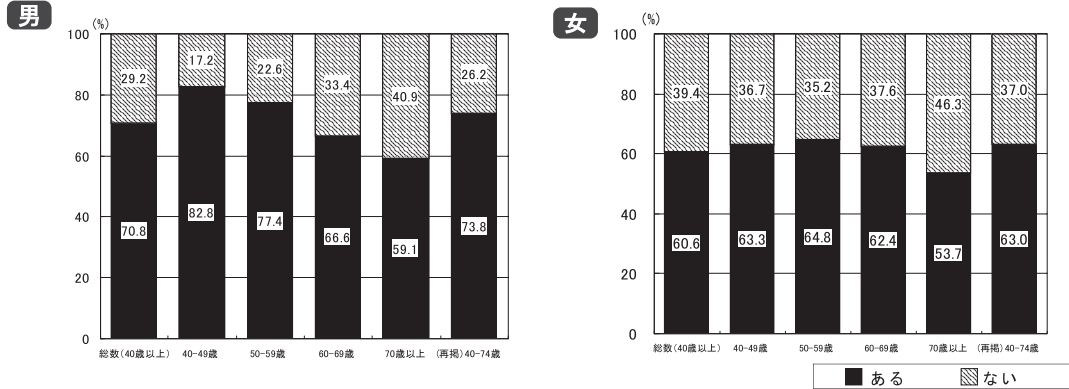
図 12-2 喫煙率の年次推移（20歳以上）



8. 健診・人間ドックでの受診状況

40歳以上において、過去1年間に健診や人間ドックを受けたことがある者は、男性約7割、女性約6割であった。

図13 健診・人間ドック受診率（40歳以上）



過去1年間に健診や人間ドックを受けたことがある者のうち、健診の結果、肥満や高血圧、糖尿病などの指摘を受けたことのある者の割合は、男女共に約6割であった（図14）。そのうち、40～74歳が受けた指摘の内容としては、男女共に脂質異常が最も多く、男性約5割、女性約6割であった（図15）。

図14 健診・人間ドックでの指摘の有無

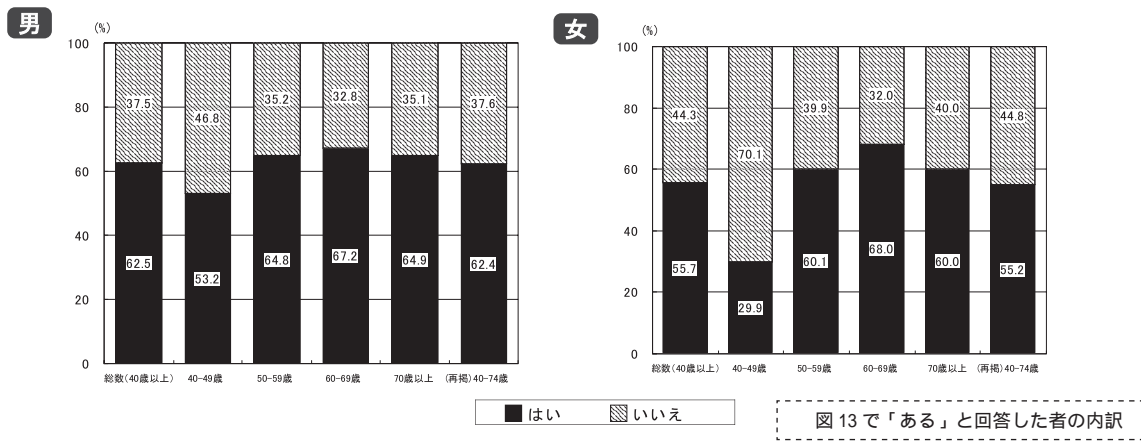
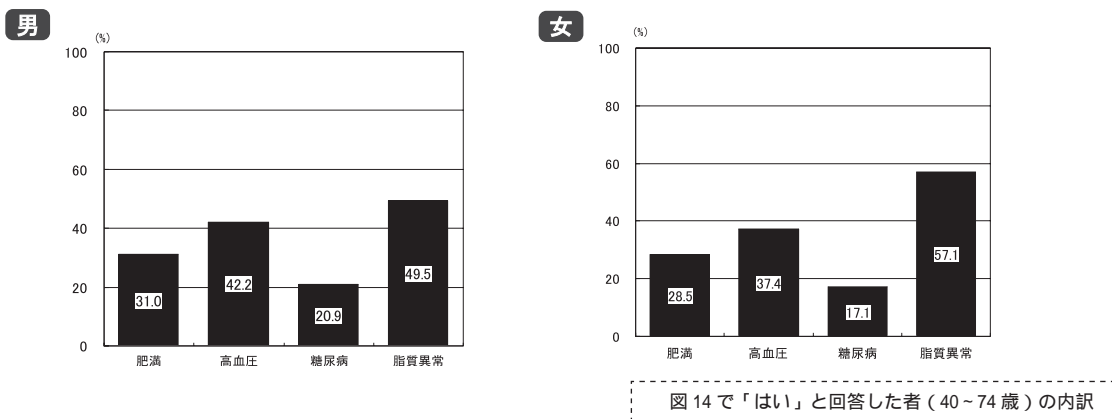


図15 健診・人間ドックでの指摘内容（40～74歳）



## 9. 医療機関の受診状況

40歳以上において、健診の結果、指摘を受けたことがある者のうち、医療機関の受診を勧められた者は、男女共に約6割であり（図16）、そのうち最終的に医療機関に行った者は、男女共に約9割（図17）。

図16 健診の結果、医療機関の受診を勧められた者の比率

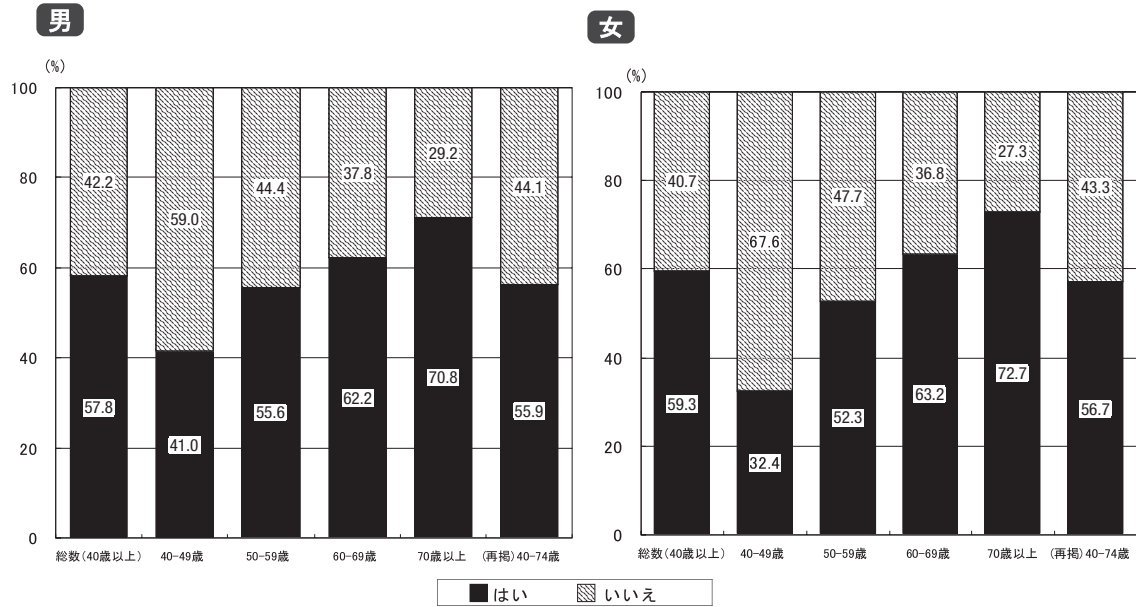


図17 医療機関に行った者の比率

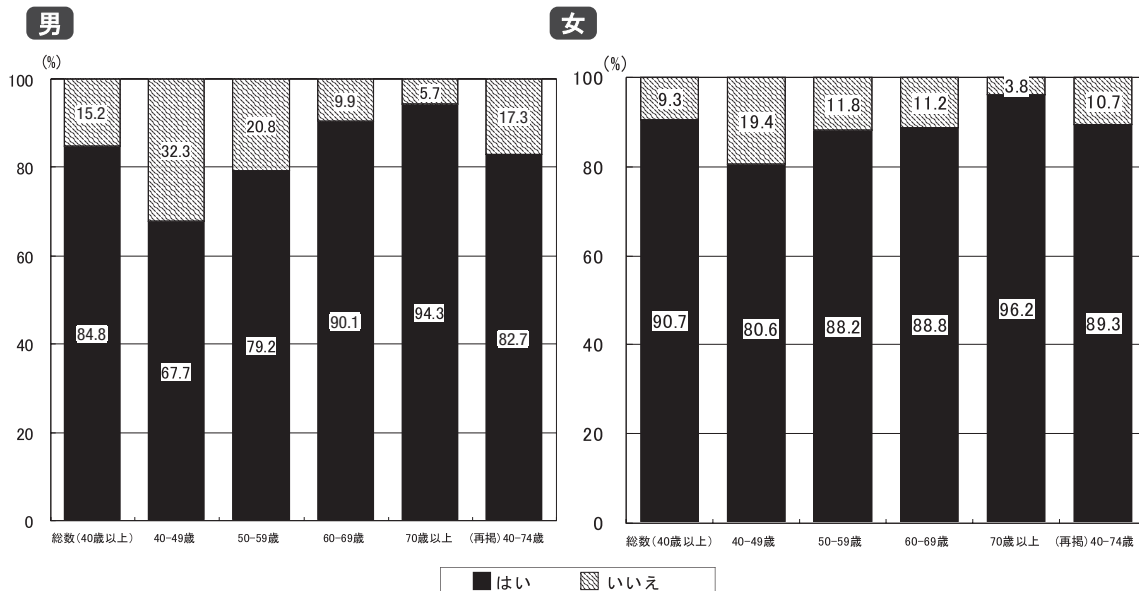


図16で医療機関の受診を勧められたと回答した者の内訳

10. 保健指導の利用状況

40歳以上において、健診の結果、指摘を受けたことのある者のうち、保健指導を受けた者は、男女共に約7割であり(図18)、そのうち、指導内容を実行している者(「おおむね実行している」、「一部実行している」)は、男女共に約9割(図19)。

図18 健診の結果、保健指導を受けた者の比率

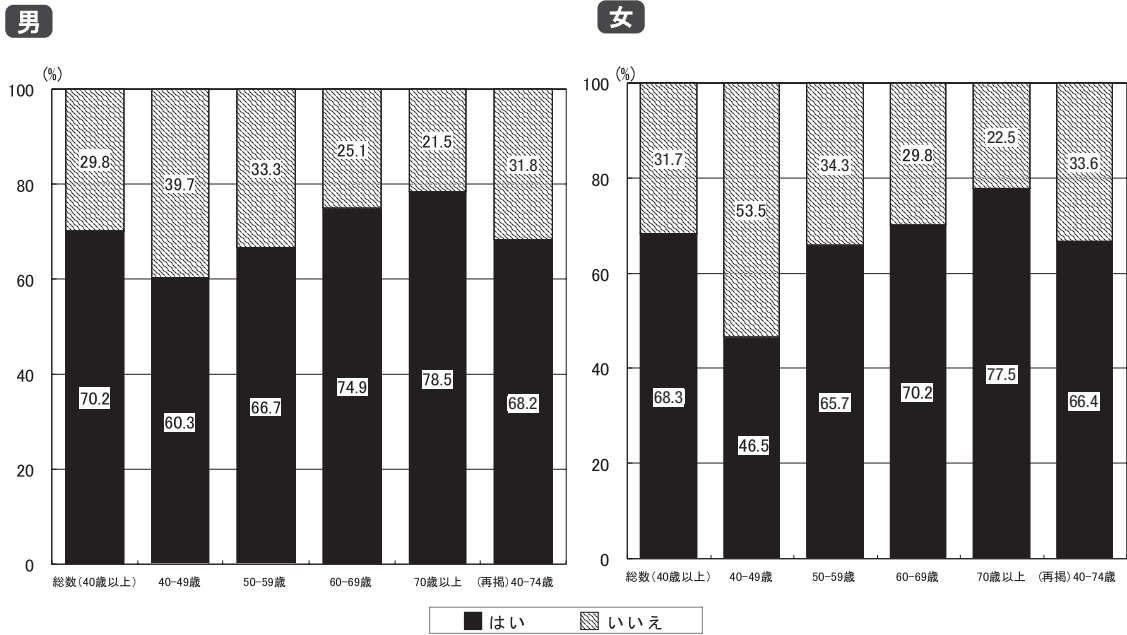


図19 保健指導内容を実行している者の比率

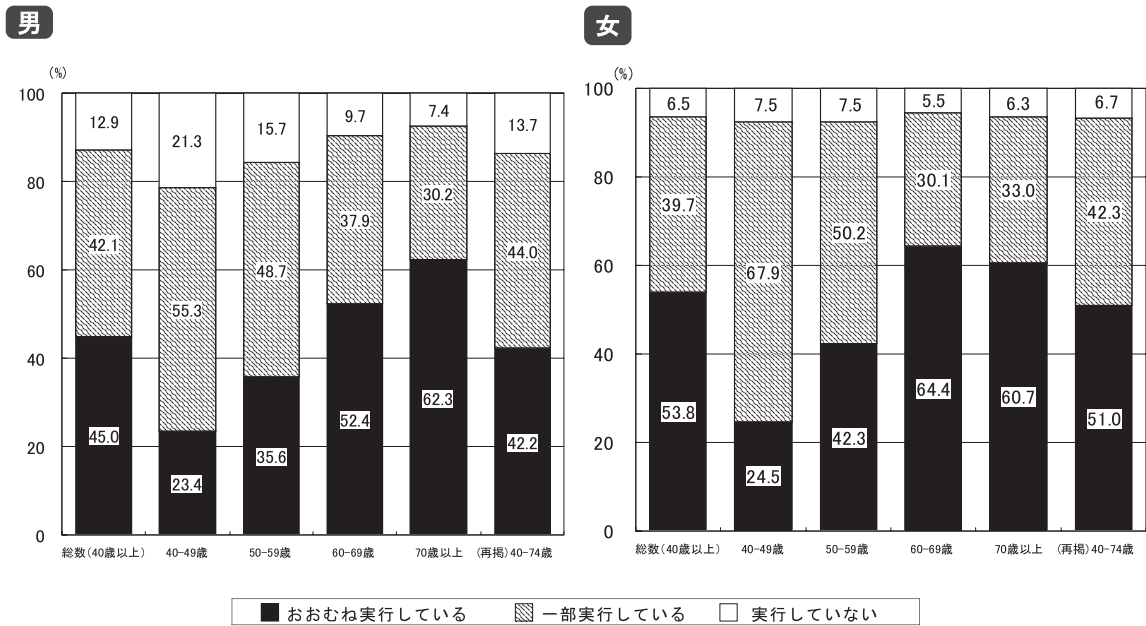
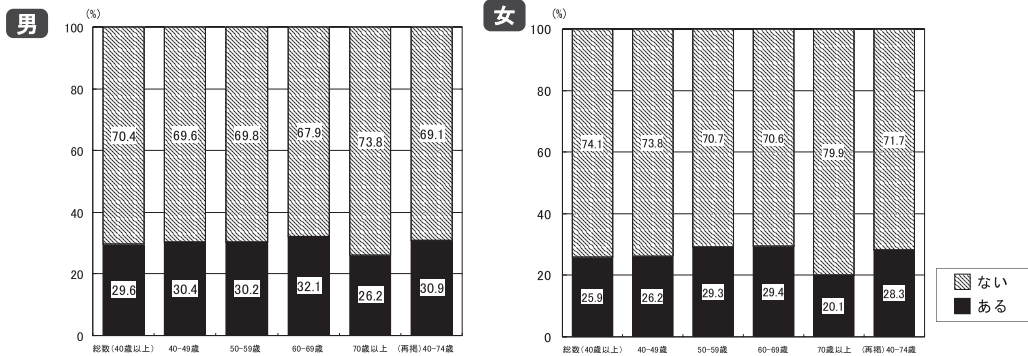


図18で保健指導を受けたと回答した者の内訳

## 11. 腹囲計測の状況

40歳以上において、過去1年間に腹囲（おへその位置でのお腹周り）を計測したことがある者は、男女共に約3割であった。

図20 過去1年間の腹囲計測の有無



腹囲をコントロールするために、食事や運動などの生活習慣に気をつけている者の割合は、腹囲計測をしたことのある者で、男性約7割、女性約8割に対し（図21）、腹囲計測をしたことのない者の割合は、男性約4割、女性約5割であった（図22）。

図21 （腹囲計測経験あり）腹囲コントロールのために食事や運動、生活習慣について気をつけているか

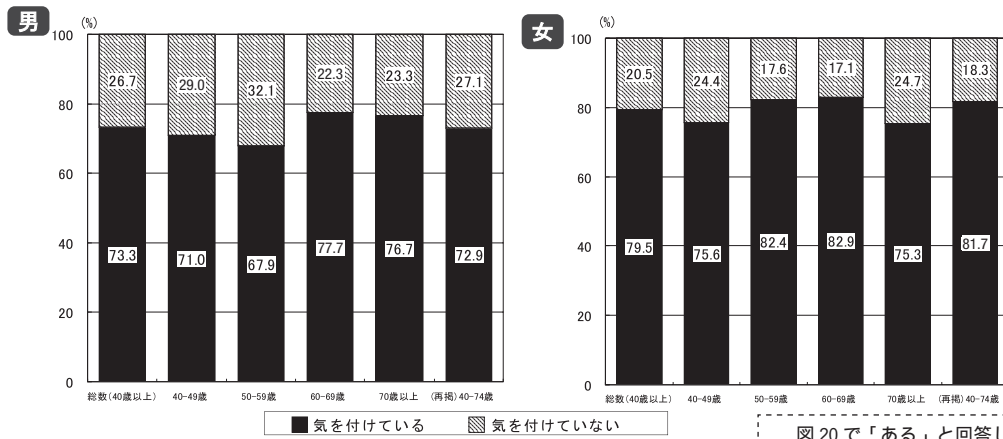


図20で「ある」と回答した者の内訳

図22 （腹囲計測経験なし）腹囲コントロールのために食事や運動、生活習慣について気をつけているか

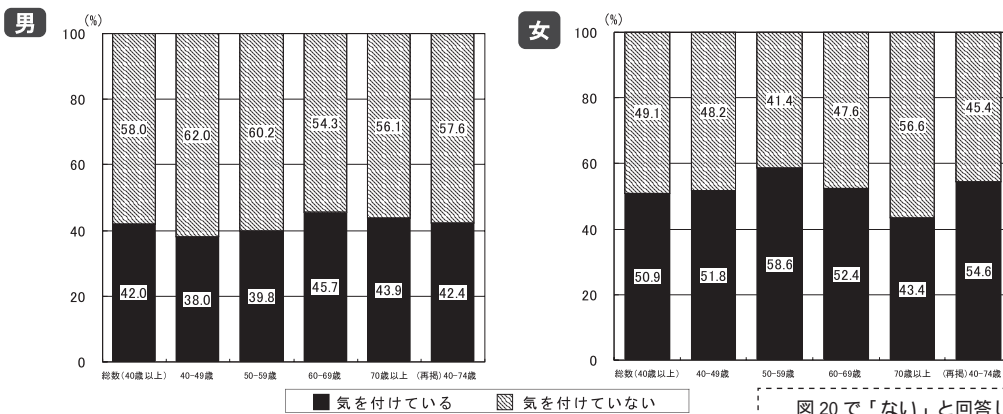


図20で「ない」と回答した者の内訳